

研究課題名	高齢者の大腿切断術における坐骨神経への局所麻酔薬単回注入の後方視的検討
研究責任者名	東広島医療センター 麻酔科 医長 奈尾 幸子
研究期間	倫理審査承認日～ 2024年10月31日
対象者	2015年1月から2024年1月の期間、当院で大腿切断術を受けられた65歳以上の患者さん
意義・目的	<p>下肢の切断術では多くの患者さんが切断肢の痛みや幻肢痛（亡くなった足が痛む現象）を経験されますが、切断肢の神経の断端へ局所麻酔薬を持続的に注入すると術後の痛みや幻肢痛を軽減することができるという報告されています。当院では下肢の切断術を受けられる患者さんの多くが重症合併症を持っていたり、感染症を伴っていたりしますので、合併症を増やすことなく術後の痛みを軽減する目的で2019年より神経断端への局所麻酔薬の単回の注入を行ってきました。</p> <p>本研究の目的はその効果と副作用の有無を評価することです。本研究によりその効果が明らかになれば、今後下肢の切断術を受けられる患者さんの苦痛を少しでも取り除く方法を一つ増やすことが可能となります。</p>
方法	<p>東広島医療センターにおいて作成された診療録情報（カルテ）を使用して研究を行います。通常の診療にて得られるデータのみで研究を行いますので、患者さんの体への負担はありません。年齢、性別や下肢切断術に至った病名、手術前後の痛みの程度や使用した鎮痛薬などについてカルテ上で情報収集を行い、比較検討を行います。</p>
試料・情報の管理責任者	東広島医療センター 麻酔科 奈尾 幸子
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p>
問合せ窓口	東広島医療センター 麻酔科 医長 奈尾 幸子 住所：〒734-0041 広島県東広島市西条町寺家513 電話：082-423-2176(代表)